

◎観光振興の経費

観光施設整備事業 【 観光課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉を訪れている観光客に対し、施設面での充実を図ることによって、安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚を図り、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

(1) 観光施設整備事業

- ・既存の観光案内板の維持管理に加え、名所掲示板・観光ルート板等の改修及び公衆トイレの建替えを行い、観光施設の整備を図った。なお、材木座第二公衆トイレについては前年度からの繰越明許費により整備した。
- ・公衆トイレなどの修繕とハイキングコースの清掃及び維持管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 観光案内施設の整備・充実(6-3-2-①)
- 公衆トイレの整備(6-3-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
86,431	104,363	103,657		706
主な支出内訳				
・ 観光施設整備事業				
				11,162
				3,293
				411
				1,388
				7,346
				4,247
				297
				121
				1,869
				0
				221
				1,071
				47,670
				23,057
				200
主な特定財源				
				20,000

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-16 観光施設整備事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	390 観光施設維持管理事業					
		392 観光施設整備事業					
主管課 分野名	観光課	関連課	各部各課				
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	・観光客数は、暦年		
運営資源 状 況	観光客数	19,344,470人	18,685,598人	18,455,281人			
	決算値	103,657千円	80,904千円	70,145千円			
	(国・県)	20,000千円	53,000千円	63,339千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	83,657千円	27,904千円	6,806千円			
	人員配置数	1.45人	1.45人	1.2人			
	人 件 費	14,103千円	13,955千円	11,638千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	117,760千円	94,859千円	81,783千円			
	市民1人当 りの経費	667円	539円	467円			
	対象者1人 当りの経費	6.1円	5.1円	4.4円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)
公衆トイレの大規模改修済 み箇所数	◎	目標値	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	9カ所
		実績値	2カ所	2カ所			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
案内板・観光ルート板の改 修数(案内板2、ルート板)	○	目標値	26カ所	34カ所	4カ所	13カ所	34カ所
		実績値	46カ所	21カ所			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
名所掲示板の改修数 (多言語化を含む)	◎	目標値	10カ所	9カ所	9カ所	4カ所	22カ所
		実績値	8カ所	10カ所			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名	横浜市	藤沢市	箱根町		京都市	奈良市	小樽市
観光客数	42,532	13,401	20,677		50,210	11,695	7,145
宿泊客数	5,134	362	4,727		13,061	2,188	637
宿泊率	12.1%	2.7%	22.9%		26.0%	18.7%	8.9%
	鎌倉市						
観光客数	19,344						
宿泊客数	327						
宿泊率	1.7%						

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースにおける緊急対応に対する体制が不十分。 公衆トイレの補完的取組みである協力店を充実させる方法の検討が不十分。 公衆トイレは、順次建替え改修しているものの、老朽化している施設も多く、アンケート等でも利用者の満足度は低い結果となっている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースについては、風致保存会と協働事業によるパトロールを行い、倒木等危険箇所が発見された場合には、随時連絡を取り合い連携を密に事業を進めることとした。 公衆トイレの課題は、推進本部の個別検討部会においても議論がされ、商店会と話し合いを行うことができた。 公衆トイレ維持管理は、環境保全課の協力も得て、清掃業者からの通報や連絡に対し緊急性の高いものから優先的に対応した。また、大規模改修(建替え)したトイレについては、多目的トイレやペーパーホルダー等をできる限り設置しホスピタリティの向上に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> 公衆トイレの補完的取組みである協力店を充実させる方法の検討が必要。 トイレについては順次計画的に建て替えを進めているが、老朽化したトイレに対する苦情がある。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> 推進本部の個別検討部会において、トイレ協力店の充実を引き続き検討していく。 トイレの建て替えを進めると同時に、既存トイレの場所や位置、機能を掲載したトイレマップを作成し、目的地までのトイレ事情を観光客へ情報提供していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	公衆トイレや案内標識の充実は、観光都市として重要な施設整備と認識している。今後も積極的に整備に取り組むとともに、地域の協力を得た新たな整備方法についても検討していきたい。		
担当課長氏名:	鶴見 俊之		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 無
	世界遺産登録などに対応するためにも、外国人観光客を意識した観光施設(公衆トイレ、案内標識など)の整備は急務であると理解している。今後も地域と協力しながら、積極的に取り組んでいくことが重要である。		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子